

まちづくり交付金 事後評価シート
木谷砂原湯盛周辺地区

平成21年12月

広島県東広島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	広島県		市町村名	東広島市		地区名	木谷砂原湯盛周辺地区			面積	205 ha		
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	766百万円	国費率	0.4				
1) 事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路事業(市道湯盛宮ノ浦線)、地域生活基盤施設事業(ふれあい広場2箇所)、公営住宅等整備事業(砂原湯盛住宅)										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	なし										
	新たに追加した事業	基幹事業	道路事業(都市計画道路 上条浜田線)		越水による通行止めや、線形不良等による事故、渋滞の解消と歩道設置等による交通安全上の課題を解決し安芸津バイパスに連絡することにより、地域住民の安全安心な生活を支える交通利便性を一層向上させるために追加				新たな目標及び指標の追加設定を実施				
提案事業		事業活用調査(事業効果分析)		事業成果を客観的に検証し、今後のまちづくりの方向性の検討に活用するため				-					
交付期間の変更	当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響				-					
変更	なし												
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
	指標1	市営砂原湯盛団地の建替えによるバリアフリー化	%	0	H16	66	H17		66	○	あり なし	市営砂原湯盛住宅の建替えにより、バリアフリー対応戸数の割合が向上し、高齢者・障害者が暮らしやすい居住環境が整備された。	
	指標2	地域ふれあい広場整備による利用者数及び集会所の利用者数	人	3,500	H16	5,000	H21		4,332	△	あり なし	ふれあい広場の整備により、地区のコミュニティ形成の場が提供され、公営住宅のバリアフリー化とあいまって、世代間交流が促進された。	H23年3月
	指標3	市道湯盛宮ノ浦線の改良率	%	0	H16	12	H21		14	○	あり なし	市道の拡幅整備により、道路狭隘率が改善され、安心して住みやすい住宅ゾーンが形成された。	
指標4	木谷～三津間の通過時間	分	8	H18	4	H21		4	○	あり なし	当該道路の整備により、通過時間が半分に短縮され、利便性、定時性が向上した。		
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標	1年以内の	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
	その他の数値指標1	なし											
	その他の数値指標2	なし											
その他の数値指標3	なし												
4) 定性的な効果発現状況	整備された市営湯盛砂原住宅に入居している16世帯への聞き取りでは、手すり設置や段差解消、広幅通路等のバリアフリー化に関して、概ね満足しているという意見がほとんどを占め、入居者の満足度が高いことが確認された。												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった							
	住民参加プロセス	ふれあい広場の整備について、意見交換会による地区住民意見を整備内容に取り入れたことにより、整備後の利用が高まりつつある。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 広場の新たな利用促進を図りながら、今後の同種事業への反映を行う。		
持続的なまちづくり体制の構築	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								

様式2-2 地区の概要

木谷砂原湯盛地区(広島県東広島市) まちづくり交付金の成果概要

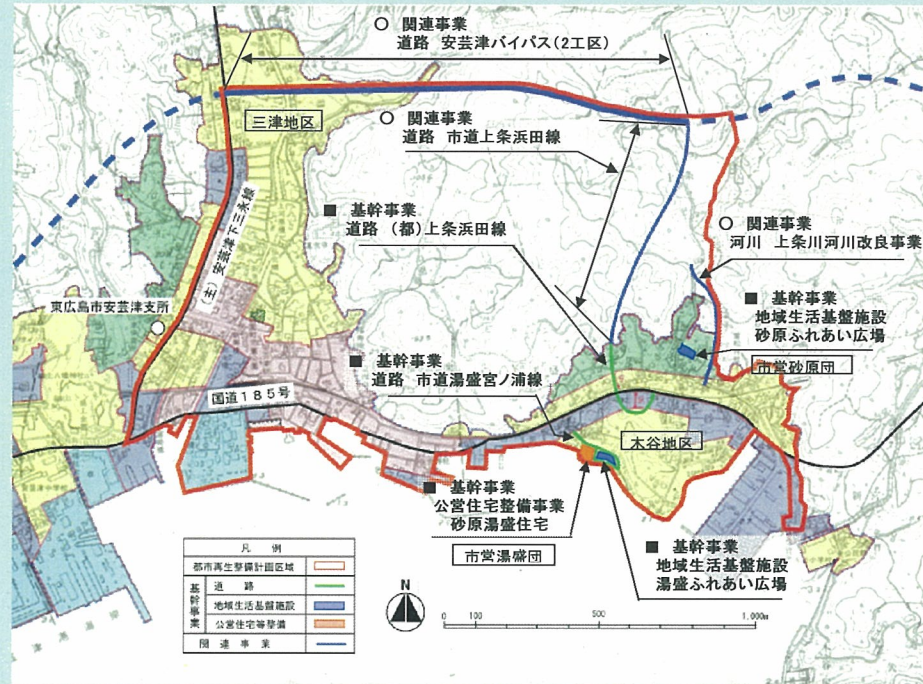
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値			
大目標:環境を生かした安心してすみやすい住宅ゾーンの形成 目標1:高齢者・障害者が暮らしやすい居住環境の整備を図る。 目標2:アクセス道を拡幅し、交通利便性及び歩行者の安全確保を図る。 目標3:地域コミュニティの向上を図る。 目標4:地域内の基幹道路を整備し、交通利便性の向上を図る。	市営砂原湯盛団地の建替えによるバリアフリー化	単位:%	0 H16	66	H17	66	H21
	地域ふれあい広場整備による利用者数及び集会所の利用者数	単位:人	3,500 H16	5,000	H21	4,332	H21
	市道湯盛宮ノ浦線の改良率	単位:%	0 H16	12	H21	14	H21
	木谷～三津間の通過時間	単位:分	8 H18	4	H21	4	H21



道路整備事業(都市計画道路 上条浜田線)



道路改良事業(市道湯盛宮ノ浦線)



公営住宅等整備事業(市営砂原湯盛住宅16戸)



地域生活基盤施設(ふれあい広場 2箇所)

まちの課題の変化
 当地区の市営住宅全24戸のうち新築された16戸がバリアフリー化された結果、老朽施設の更新と入居する高齢者の安全性、利便性が高まった。市道湯盛宮ノ浦線の拡幅改良整備により、狭路改良率が整備前の0%から14%へと増加し、安全性が向上した。(都)上条浜田線の整備により安芸津バイパスと円滑な連絡が実現され、地区住民の安全で安心な生活基盤の向上が図られた。平成21年9月現在で供用開始している湯盛地区広場において、隣接する市営住宅や地区の居住者、夏休み中の学童など世代間交流が促進された。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)
 ●安全・安心な住環境の改善
 地区内の個人住宅における耐震性・安全性の向上を図るため、個人住宅のバリアフリー化及び耐震補強等の改修工事に対する公的支援事業の導入を検討する。整備箇所については利用者によるバリアフリー評価アンケートなどの実施を検討する。
 ●地域コミュニティの活性化
 砂原湯盛住宅の建設と地域ふれあい広場の整備を活かし、盆踊り等のイベント開催など、多世代交流を促進する。また、住民による花壇の整備等を促進する。
 ●交通安全対策の推進
 周辺の道路ネットワークを含めた道路狭路部の改良や歩道整備などによる安全でスムーズなアクセスの確保に努める。